



さわやか

健康
誠実
敬愛

令和3年11月12日

西東京市立田無第二中学校 11月号

読書の秋 ～読書が人を育てる～

主幹教諭

木の葉は色づき、秋風を感じる季節になりました。秋のおいしい食材を楽しむのもこの時期の楽しみです。「〇〇の秋」という言葉をよく耳にします。みなさんは、〇〇の部分にはどのような言葉を思い浮かべますか。食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋…など様々な言葉を思い浮かべるでしょう。今回は、その中でも読書の秋についてお伝えしようと思います。本校でも毎朝、朝読書という活動を行っています。朝読書には読解力や学力の向上だけでなく、様々な教育効果があります。読書の楽しさや継続することの大切さに気付くことがあります。心落ち着かせることでのストレスや不安の解消にもなります。よい内容や文章に触れて豊かな心を育むこともできます。



*1 令和元年の学校読書調査によれば、中学生の1か月平均読書冊数は平均4.7冊でした。一方、小学生では11.9冊でした。小学生が読む本と中学生が読む本では、1冊のページ数や内容の違いによって単純比較はできませんが、読書冊数の減少が見られます。高校生に至っては月平均1.4冊まで減少してしまいます。月平均であなたはどのくらいの本を読んでいますか。*2 文部科学省の調査によれば読書量の多いこどもはコミュニケーションスキルや礼儀・マナースキルも高い傾向にあるようです。また、中学生から高校生の思春期の段階では「共感的読書期」と言われる期間に入ります。読書による共感を求めて、自分に合う本を選択します。共感したり感動したりする本に出会うと何度も読むこともある時期になります。つまり、登場人物や情景、作者の考えをイメージし心を感じ取ることができるようになるそうです。まさに、読書が豊かな心を育むということになります。

最近では脳科学の分野でも読書の効果を検証しています。言語脳科学者の酒井邦嘉東京大学教授によれば、読書では映像を見ることよりも少ない情報しか読み取ることができない。それゆえ、想像力を働かせて情景や感情などを補う作業を脳内で行うと述べています。例えば、「アツアツの焼き芋をはふはふと楽しむ。」という表現が本の中に出てきたとします。焼き芋を食べる人物の口や指の動き、焼き芋から立ち上るアツアツの蒸気や香ばしい匂い、甘さや口当たりなどを自然に想像していくことができます。読書は五感を刺激し、脳の動きを活性化させ、想像力を高めることができます。

今日、映像や動画が毎日オンライン上にアップロードされ、様々な情報を目や耳から容易に得ることができます。映像を倍速で再生し、1時間で2本のドラマを見ることすら可能です。しかし、読書はそう簡単には行きません。読書には時間も必要です。朝読だけでなく、勉強の合間や寝る前の少しの時間でも構いません。読書の秋を楽しんでみませんか。読んだ本の内容を家族や友達と話して、考えたり感じ取った内容を深めたりすることもいいと思います。歴史物、恋愛小説、ノンフィクション、エッセイ、伝記…どのようなジャンルの本を手に取りますか。今までトライしたことのなかったジャンルでもいいでしょう。読書のためのゆとりを生み出して、文字が誘う想像の旅を楽しんではどうでしょうか。読書の秋があなたにとって、実りの秋となることでしょう。

*1『令和元年 学校読書調査』 全国学校図書館協議会と毎日新聞による共同調査 *2『平成27年 子どもの読書活動に関する現状と論点』 文部科学省

◇◇1年生校外学習◇◇ 令和3年11月5日実施

Enjoy walk! ～いつも仲間と共に～

小金井公園とそこにある江戸東京たてもの園へ徒歩で行って来ました。本来1年生は鎌倉や川越か、登山を校外学習として予定していましたが、コロナ禍の中、必ず実施できる範囲内ということであらかじめ市内を選んで実施しました。そして今回のテーマは「歩く」です。

晴天に恵まれたこの日はあらかじめ班ごとに計画していた小金井公園へのルートを通してしっかり歩いて行きました。予定より早くほとんどの班が集合地点である江戸東京たてもの園前に到着し、チェックを受けました。江戸東京たてもの園は小学校の時に見学に来ている生徒たちがほとんどですが、中学校では新しい仲間と新しい視点で見学しました。そのひとつは事後学習と事前に渡されていたスマホを使った写真撮影です。もう一つは園内でのスケッチです。午前中の時間を使って班で建物の見学、記録写真撮影、そして葉書の大きさの画用紙にスケッチをしていました。スケッチは時間内に彩色できなかった生徒たちは家で完成させます。

午後はお昼をのんびりと「いこいの広場」で食べて、その後は園内をまた歩きます。「この木なんの木?」というグリーンアドベンチャーを行いながら園内にある番号の付いた木を班で探して行きます。生徒たちは思い思いの工夫した写真を木の前で撮ったり、課題が終わった班はクラスや班で自由に遊んだりしていました。この自由時間が生徒たちにはとても有意義な時間だったようで満足した表情が見られました。これだけ歩いてもまだ帰りの「徒歩での帰校」という課題がありましたが、生徒たちは足取りも軽く無事に午後4時頃には学校へ戻って来ました。中学での協力とルールを守る行動が楽しいひとときと共に成し遂げられた一日でした。

[※詳しくは二中ホームページへ](#)



◇◇2年生校外学習◇◇ 令和3年10月27日実施

「一期一会」みんなで見つけよう 私たちが知らない西東京市

西東京市にある様々な施設や文化財を再発見するのが2年生のテーマです。普段の生活では知っていても詳しくは知らなかった、行かなかった（行けなかった）場所を訪れて自分たちの住む地域をもっと深く知る小さな旅です。この日は曇りで場所によっては小雨も降ることもありましたが、8時過ぎに学校をスタートし、近くのいこいの森で班ごとに写真を撮ってもらった後はどの班も事前に調べていた場所を順序よく見学することができました。特にコロナ禍の中であまり公開していない場所として「東京大学演習林」「高橋家住宅」などは初めて入ることができ、係の人からの詳しい説明もとても貴重な経験となりました。また田無神社では宮司さんが二中と田無神社は縁が深い（二中のプールに昔、田無神社がありました）ことから詳しく境内を案内してくれました。また、市の施設である郷土資料室では古代からの西東京市の詳しい説明があり、見学した場所と関連させながら聞くことができました。西東京市内は徒歩で行動するにはちょうどよい広さで、下野谷遺跡や多摩六都科学館、東伏見稲荷神社など有名な場所から小さなお神社仏閣、歴史的な場所までスローガンにある通り「みんなで見つける」再発見の一日となりました。1年生同様に徒歩で市内を一日歩く健康的な校外学習となりました。昨年度は感染防止のために集団で行動する行事がなかった2年生ですが、この一日の中でさすが2年生と思われる充実した学習ができました。 [※詳しくは二中ホームページへ](#)



今後実施予定の主な大きな行事 ※感染状況により変更もあります

- 2月4日（金）から5日（土）1年生スキー移動教室／菅平高原
- 2月17日（木）2年生校外学習／都内巡り
- 3月11日（金）合唱コンクール／会場・文華女子高等学校講堂
- 3月13日（日）から14日（月）3年生修学旅行代替行事／横浜方面